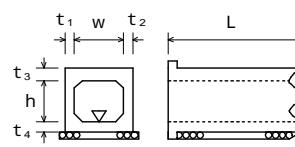
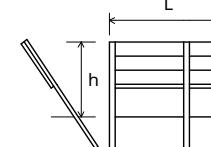
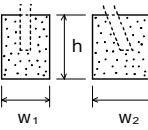


【第10編】道路編

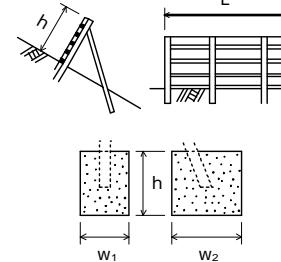
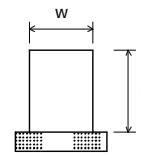
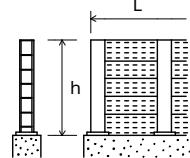
単位: mm

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値
10 道 路 編	1 道 路 改 良	3 工 場 製 作 工	2 工 場 製 作 工	1 1	遮音壁支柱製作工	部材 部材長 (m)	± 3 ... 10 ± 4 ... >10
10 道 路 編	1 道 路 改 良	7 カ ル バ ー ト 工	6 工 場 製 作 工		場所打函渠工	基 準 高	± 30
						厚さ $t_1 \sim t_4$	- 20
						幅(内法) w	- 30
						高 さ h	± 30
						延長 L	L < 20m - 50
							L ≥ 20m - 100
10 道 路 編	1 道 路 改 良	9 落 石 雪 害 防 止 工	4 工 場 製 作 工		落石防止網工	幅 w	- 200
						延 長 L	- 200
10 道 路 編	1 道 路 改 良	9 落 石 雪 害 防 止 工	6 工 場 製 作 工		防雪柵工	高 さ h	± 30
						延 長 L	- 200
						基礎	幅 w_1, w_2
							高 さ h
							- 30

測定基準	測定箇所	摘要
図面の寸法表示箇所で測定。		
両端、施工継手及び図面の寸法表示箇所で測定。		
1施工箇所毎		
施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1箇所、施工延長 40m(又は 50m) 以下のものは 1施工箇所につき 2箇所。		
1施工箇所毎		
基礎 1基毎		

単位: mm

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値
10 道 路 編	1 道 路 改 良	9 落 石 雪 害 防 止 工			雪崩予防柵工	高さ h	± 30
						延長 L	- 200
						基礎 幅 w_1, w_2	- 30
						高さ h	- 30
						アンカーレング 長さ	打込み
						埋込み	- 10%
10 道 路 編	1 道 路 改 良	10 遮 音 壁 工			遮音壁基礎工	幅 w	- 30
						高さ h	- 30
						延長 L	- 200
10 道 路 編	1 道 路 改 良	10 遮 音 壁 工			遮音壁本体工	支柱 間隔 w	± 15
						すれ a	10
						倒れ d	$h \times 0.5\%$
						高さ h	+ 30, - 20
						延長 L	- 200

測定基準	測定箇所	摘要
施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、施工延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎 基礎 1 基毎		
	全数	
施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、施工延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		
施工延長 5 スパンにつき 1 箇所 1 施工箇所毎		

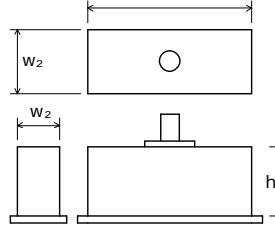
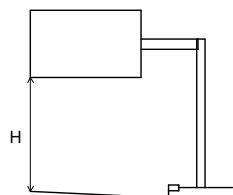
単位: mm

編	章	節	条	枝番	工	種	測定項目	規 格 値							
								個々の測定値 (X)		10 個の測定値 の平均 (X ₁₀)					
								中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上					
10 道 路 編	2 道 路 編	3 舗 装 工	歩道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工	歩道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工	歩道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工	歩道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工	歩道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工	基準高	± 50						
								厚 さ	t < 15cm	- 30					
									t 15cm	- 45					
										- 10					
								幅	- 100						
10 道 路 編	2 道 路 編	3 舗 装 工						厚 さ	- 9	- 3					
								幅	- 25						

測 定 基 準	測 定 範 所	摘 要
基準高は片側延長 40m毎に 1箇所の割で測定。 厚さは、片側延長 200m毎に 1箇所掘り起こして測定。 幅は、片側延長 80m毎に 1箇所測定。 両端部 2 点で測定する。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が 2000 m ² 以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が 500 t 未満あるいは施工面積が 2000 m ² 未満。 厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X ₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	

単位: mm

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値
10 道 路 編	2 道 路 編	4 道 路 編	9 道 路 編		排水性舗装用路肩排水工	基 準 高	± 30
						延 長 L	- 200
10 道 路 編	2 道 路 編	6 道 路 編	4 道 路 編		踏掛版工 (コンクリート工)	基 準 高	± 20
						各 部 の 厚 さ	± 20
						各 部 の 長 さ	± 30
					(ラバーシュート)	各 部 の 長 さ	± 20
						厚 さ	
						中 心 の ず れ	± 20
					(アンカーボルト)	アン カ ー 長	± 20
10 道 路 編	2 道 路 編	8 道 路 編	4 道 路 編	1 道 路 編	大型標識工 (標識基礎工)	幅 w_1, w_2	- 30
						高 さ h	- 30
10 道 路 編	2 道 路 編	8 道 路 編	4 道 路 編	2 道 路 編	大型標識工 (標識柱工)	設置高さ H	設計値以上

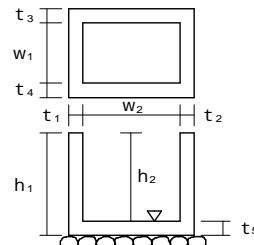
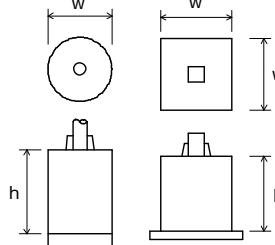
測定基準	測定箇所	摘要
施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 箇所 / 1 施工箇所		
1 箇所 / 1 踏掛版		
1 箇所 / 1 踏掛版		
1 箇所 / 1 踏掛版		
全数		
全数		
全数		
基礎一基毎		
1 箇所 / 1 基		

単位: mm

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値
10 道路 編	2 舗 装	11 道 路 付 属 施 設 工	5	1	ケーブル配管工	基 準 高	± 30
						延 長 L	- 200

10 道路 編	2 舗 装	11 道 路 付 属 施 設 工	5	2	ケーブル配管工 (ハンドホール)	基 準 高	± 30
						厚さ $t_1 \sim t_5$	- 20
						幅 w_1, w_2	- 30
						高さ h_1, h_2	- 30

10 道路 編	2 舗 装	11 道 路 付 属 施 設 工	6	3	照明工 (照明柱基礎工)	幅 w	- 30
						高 さ h	- 30

測定基準	測定箇所	摘要
接続部間毎に 1 箇所		
接続部間毎で全数		
1 箇所毎 印は、現場打ちのある場合		
1 箇所 / 1 施工箇所		

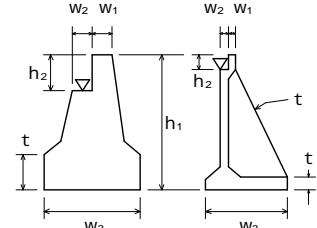
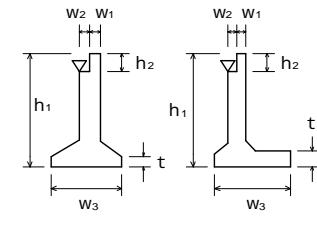
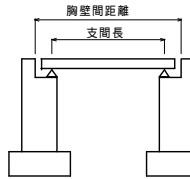
単位: mm

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値
10	道	橋	3	3	3	鋼製橋脚製作工	
道路編	橋梁下部	工場製作部	工	種	部材	脚柱とベースプレートの鉛直度 (mm)	w / 500
					ベースプレート	孔の位置	± 2
						孔の径	0 ~ 5
					仮組立時	柱の中心間隔、対角長 L (m)	± 5 ... L 10m ± 10 ... 10 < L 20m ± (10 + (L - 20)/10) ... 20m < L
						はりのキャンバー及び柱の曲がり (mm)	L / 1,000
						柱の鉛直度 (mm)	10 ... H 10 H / 1,000 ... H > 10

測定基準	測定箇所	摘要
各脚柱、ベースプレートを測定。		
全数を測定。		
全数を測定。		
両端部及び片持ぱり部を測定。		
各主構の各格点を測定。		
各柱及び片持ぱり部を測定。		

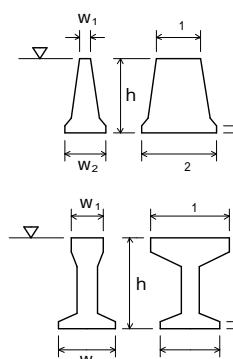
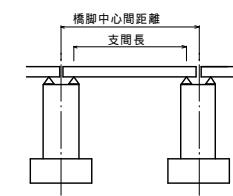
単位: mm

編	章	節	条	枝番	工	種	測定項目	規格値
10	道	路	3	4	8	橋台	橋台軸体工	
部	橋	梁					基 準 高	± 20
							厚 さ t	- 20
							天 端 幅 w_1 (橋軸方向)	- 10
							天 端 幅 w_2 (橋軸方向)	- 10
							敷 幅 w_3 (橋軸方向)	- 50
							高 さ h_1	- 50
							胸壁の高さ h_2	- 30
							天 端 長 l_1	- 50
							敷 長 l_2	- 50
							胸壁間距離	± 30
							支 間 長 及 び 中心線の変位	± 50
					アンカーボルトの箱抜き規格値	鋼製支承	計画高	- 30 ~ + 10
							平面位置	± 20
							アンカーボルト孔の鉛直度	1 / 50 以下
						ゴム支承	計画高	- 20 ~ + 10
							平面位置	± 20
							アンカーボルト孔の鉛直度	1 / 50 以下

測定基準	測定箇所	摘要
橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。	  	

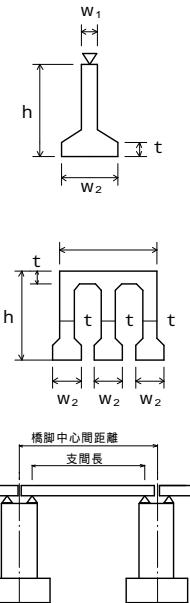
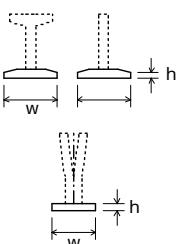
単位: mm

編	章	節 条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
10 道 路 編	3 橋 梁 下 部	5 R C 橋 脚 工	9 橋 脚 工	1 (張出式)	基 準 高	± 20
					厚 さ t	- 20
					天 端 幅 w_1 (橋軸方向)	- 20
					敷 幅 w_2 (橋軸方向)	- 50
					高 さ h	- 50
					天 端 長 l_1	- 50
					敷 長 l_2	- 50
					橋脚中心間距離	± 30
					支 間 長 及 び 中心線の変位	± 50
		アンカーボルトの箱抜き規格値	鋼製支承	計画高	- 30 ~ + 10	
				平面位置	± 20	
				アンカーボルト孔の 鉛直度	1 / 50 以下	
		ゴム支承	ゴム支承	計画高	- 20 ~ + 10	
				平面位置	± 20	
				アンカーボルト孔の 鉛直度	1 / 50 以下	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。	 	

単位: mm

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値
10 道 路 編	3 橋 梁 下 部	5 R C 橋 脚 工	9	4	橋脚躯体工 (ラーメン式)	基 準 高	± 20
						厚 さ t	- 20
						天 端 幅 w_1	- 20
						敷 幅 w_2	- 20
						高 さ h	- 50
						長 さ	- 20
						橋脚中心間距離	± 30
						支 間 長 及 び 中心線の変位	± 50
10 道 路 編	3 橋 梁 下 部	6 鋼 製 橋 脚 工	9	1	橋脚フーチング工 (I型・T型)	基 準 高	± 20
						幅 w (橋軸方向)	- 50
						高 さ h	- 50
						長 さ	- 50

測定基準	測定箇所	摘要
橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。		
橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。		

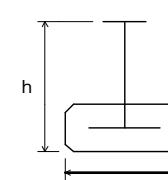
単位: mm

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値
10 道 路 編	3 橋 梁 下 部	6 鋼 製 橋 脚 工	9 下 部	2	橋脚フーチング工 (門型)	基 準 高	± 20
						幅 W_1, W_2	- 50
						高 さ h	- 50
10 道 路 編	3 橋 梁 下 部	6 鋼 製 橋 脚 工	10 下 部	1	橋脚架設工 (I型・T型)	基 準 高	± 20
						橋脚中心間距離	± 30
						支 間 長 及 び 中心線の変位	± 50
10 道 路 編	3 橋 梁 下 部	6 鋼 製 橋 脚 工	10 下 部	2	橋脚架設工 (門型)	基 準 高	± 20
						橋脚中心間距離	± 30
						支 間 長 及 び 中心線の変位	± 50
10 道 路 編	3 橋 梁 下 部	6 鋼 製 橋 脚 工	11 下 部		現場継手工	現場継手部のすき間 $1, 2$ (mm)	5 ± 5

測定基準	測定箇所	摘要
橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。		
橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。		
橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。		
主桁、主構の全継手数の1/2を測定。 は耐候性鋼材(裸使用)の場合		

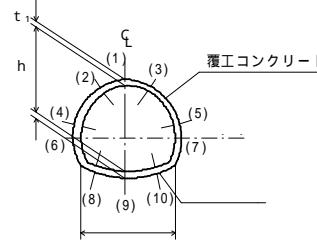
単位: mm

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値
10 道 路 編	4 道 路 編	3 工 場 上 部	9 工 場 製 作 工		橋梁用高欄製作工	部材	部材長 (m) ± 3 10 ± 4 > 10
10 道 路 編	5 道 路 編	5 コ ン クリ ー ト 橋 上 部	2 橋 上 部		プレビーム桁製作工 (現場)	幅 w	± 5
						高さ h	+ 10 - 5
						桁長 スパン長	< 15... ± 10 15... ± (- 5) かつ - 30mm 以内
						横方向最大タワミ	0.8
10 道 路 編	6 道 路 編	4 支 保 工 (N A T M)	3 支 保 工 (N A T M)		吹付工	吹付け厚さ	設計吹付け厚以上。ただし、良好な岩盤で施工端部、突出部等の特殊な箇所は設計吹付け厚の 1 / 3 以上を確保するものとする。
10 道 路 編	6 道 路 編	4 支 保 工 (N A T M)	4 支 保 工 (N A T M)		ロックボルト工	位置間隔	
						角度	
						削孔深度	
						孔径	
						突出量	プレート下面 から 10cm 以内

測定基準	測定箇所	摘要
図面の寸法表示箇所で測定。		
桁全数について測定。 横方向タワミの測定は、プレストレッシング後に測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央部の 3 箇所とする。 : スパン長		
施工延長 40m 毎に図に示す。 (1) ~ (7) 及び断面変化点の検測孔を測定。 注) 良好的な岩盤とは、道路トンネル技術基準(構造編)にいう地盤等級 A 又は B に該当する地盤とする。		
施工延長 40m 毎に断面全本数検測。		

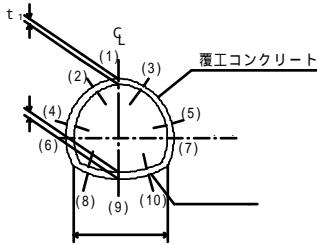
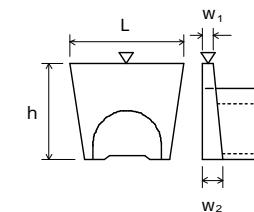
単位: mm

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値
10 道路 編	6 トン ネル (N A T M)	5 覆 工	3		覆工コンクリート工	基準高(拱頂) 幅 w (全幅) 高さ h (内法) 厚さ t_1, t_2 延長 L	± 50 - 50 - 50 設計値以上
10 道路 編	6 トン ネル (N A T M)	5 覆 工	5		床版コンクリート工	幅 w 厚さ t	- 50 - 30

測定基準	測定箇所	摘要
<p>(1) 基準高、幅、高さは、施工 40mにつき 1 箇所。</p> <p>(2) 厚さ</p> <p>(1) コンクリート打設前の巻立空間を 1 打設長の終点を図に示す各点で測定。中間部はコンクリート打設口で測定。</p> <p>(2) コンクリート打設後、覆工コンクリートについて 1 打設長の端面(施工継手の位置)において、図に示す各点の巻厚測定を行う。</p> <p>(3) 検測孔による巻厚の測定は図の(1)は 40m に 1 箇所、(2)~(3)は 100m に 1 箇所の割合で行う。</p> <p>なお、トンネル延長が 100m 以下のものについては、1 トンネル当たり 2 箇所以上の検測孔による測定を行う。</p> <p>ただし、以下の場合には、左記の規格値は適用除外とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良好な地山における岩又は吹付コンクリートの部分的な突出で、設計覆工厚の 3 分の 1 以下のもの。 ・なお、変形が収束しているものに限る。 ・異常土圧による覆工厚不足で、型枠の据付け時には安定が確認されかつ別途構造的に覆工の安全が確認されている場合。 ・鋼アーチ支保工、ロックボルトの突出。 <p>施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p> 		

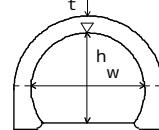
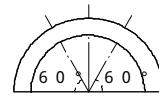
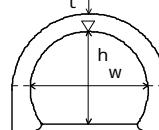
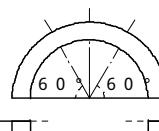
単位: mm

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値
10 道 路 編	6 ト ン ネ ル (N A T M)	6 イ ン ン バ ー ト 工	4		インパート本体工	幅 w (全幅)	- 50
						厚さ t_1, t_2	設計値以上
						延長 L	

測定基準	測定箇所	摘要
<p>(1) 幅は、施工 40mにつき 1箇所。</p> <p>(2) 厚さ</p> <p>(1) コンクリート打設前の巻立空間を 1打設長の終点を図に示す各点で測定。中間部はコンクリート打設口で測定。</p> <p>(2) コンクリート打設後、覆工コンクリートについて 1打設長の端面(施工継手の位置)において、図に示す各点の巻厚測定を行う。</p> <p>(3) 検測孔による巻厚の測定は図の(1)は 40mに 1箇所、(2)~(3)は 100mに 1箇所の割合で行う。</p> <p>なお、トンネル延長が 100m以下のものについては、1トンネル当たり 2箇所以上の検測孔による測定を行う。</p> <p>ただし、以下の場合には、左記の規格値は適用除外とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異常土圧による覆工厚不足で、型枠の据付け時には安定が確認されかつ別途構造的に覆工の安全が確認されている場合。 ・鋼アーチ支保工、ロックボルトの突出。 		
図面の主要寸法表示箇所で測定。		

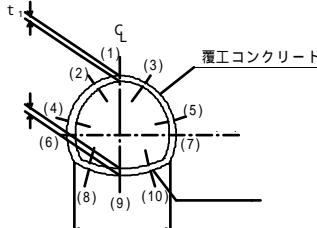
単位: mm

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値
10 道 路 編	6 ト ン ネ ル (N A T M)	8 坑 門 工	5		明り巻工	基準高(拱頂)	± 50
						幅 w(全幅)	- 50
						高さ h(内法)	- 50
						厚さ t	- 20
						延長 L	
10 道 路 編	7 ト ン ネ ル (矢 板)	5 覆 工	3		覆工コンクリート工	基準高(拱頂)	± 50
						幅 w(全幅)	- 70
						高さ h(内法)	- 70
						厚さ t	- 50
						延長 L	

測定基準	測定箇所	摘要
基準高、幅、高さ、厚さは、施工延長40mにつき1箇所を測定。 なお、厚さについては図に示す各点～において、厚さの測定を行う。	   	
(1) 基準高、幅、高さは、施工40mにつき1箇所。 (2) 厚さ (I) コンクリート打設前の巻立空間を1打設長の中間と終点を図に示す各点～で測定。 (II) コンクリート打設後、覆工コンクリートについて1打設長の端面(施工継手の位置)において、図に示す各点～の巻厚測定を行う。 ただし、上部半断面先進工法の場合～については上半のセントルの間隔程度でよい。 (III) せん孔による巻厚の測定は図のは40mに1箇所、～は100mに1箇所の割合で行う。 なお、トンネル延長が100m以下のものについては、1トンネル当たり2箇所以上のせん孔による測定を行う。 ただし、漏水の多い場合などで上記によることが好ましくない場合は、監督職員の指示により間隔を拡げることができる。	   	

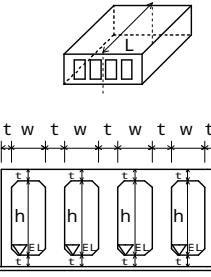
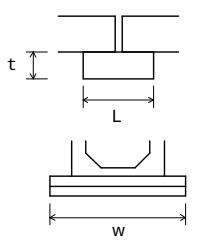
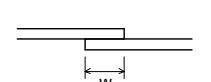
単位: mm

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値
10 道 路 編	7 ト ン ネ ル (矢 板)	6 イ ン バ ー ト 工	4		インパート本体工	幅 w (全幅)	- 50
						厚さ t_1, t_2	設計値以上
						延長 L	

測定基準	測定箇所	摘要
<p>(1) 基準高、幅、高さは、施工 40mに つき 1箇所。</p> <p>(2) 厚さ</p> <p>(1) コンクリート打設前の巻立空間 を 1打設長の中間と終点を図に 示す各点(1) ~ (10)で測定。</p> <p>(II) コンクリート打設後、覆工コン クリートについて 1打設長の端 面(施工継手の位置)において、 図に示す各点(1) ~ (10)の巻厚測 定を行う。</p> <p>ただし、上部半断面先進工法の 場合(4) ~ (7)については上半の セントルの間隔程度でよい。</p> <p>(I) せん孔による巻厚の測定は図の (1)は 40mに 1箇所、(2) ~ (3)は 100mに 1箇所の割合で行う。</p> <p>なお、トンネル延長が 100m以 下のものについては、1 トンネル 当たり 2 箇所以上のせん孔によ る測定を行う。</p> <p>ただし、漏水の多い場合などで 上記によることが好ましくない 場合は、監督職員の指示により間 隔を拡げることができる。</p> 		

単位: mm

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値
10 道 路 編	12 共 同 溝	5 現 場 打 構 築 工	2		現場打躰工	基 準 高	± 30
						厚 さ t	- 20
						内 空 幅 w	- 30
						内 空 高 h	± 30
						ブロック長 L	- 50
10 道 路 編	12 共 同 溝	5 現 場 打 構 築 工	4		カラー継手工	厚 さ t	- 20
						幅 w	- 20
						長 さ L	- 20
10 道 路 編	12 共 同 溝	5 現 場 打 構 築 工	5	1	防水工 (防水)	幅 w	設計値以上
10 道 路 編	12 共 同 溝	5 現 場 打 構 築 工	5	2	防水工 (防水保護工)	厚 さ t	設計値以上

測定基準	測定箇所	摘要
両端・施工継手箇所及び図面の寸法表示箇所で測定。		
図面の寸法表示箇所で測定。		
両端・施工継手箇所の底版・側壁・頂版で測定。		
両端・施工継手箇所の「四隅」で測定。		

単位: mm

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値
10 道路 編	12 道 路 編	5 共 同 溝	5 現 場 打 構 築 工	3	防水工 (防水壁)	高さ h	- 20
						幅 w	± 50
						厚さ t	- 20

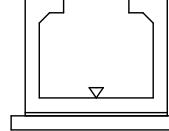
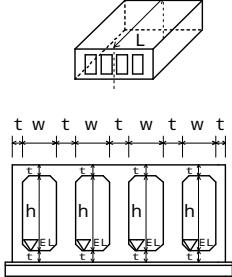
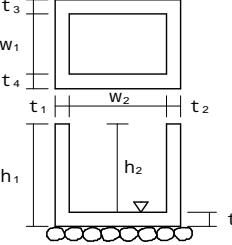
10 道路 編	12 道 路 編	6 共 同 溝	2 ブ レ キ ヤ ス ト 構 築 工	プレキャスト躯体工	基準高	± 30	
					延長 L	- 200	

10 道路 編	13 電 線 共 同 溝	5 電 線 共 同 溝 工	2	管路工(管路部)	埋設深	0 ~ + 50	
					延長 L	- 200	

測定基準	測定箇所	摘要
図面の寸法表示箇所で測定。		
施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。ただし、基準高の適用は据付後の段階検査時のみ適用する。 延長: 1 施工箇所毎		
接続部(地上機器部)間毎に 1 箇所。 接続部(地上機器部)間毎で全数。 【管路センターで測定】		

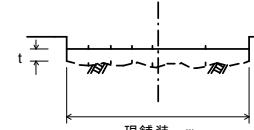
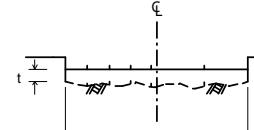
単位: mm

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値
10 道路 編	13 電 線 共 同 溝	5 電 線 共 同 溝	3		プレキャストボックス工 (特殊部)	基 準 高	± 30
10 道路 編	13 電 線 共 同 溝	5 電 線 共 同 溝	4		現場打ちボックス工 (特殊部)	基 準 高	± 30
						厚 さ t	- 20
						内 空 幅 w	- 30
						内 空 高 h	± 30
						ブロック長 L	- 50

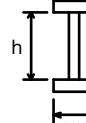
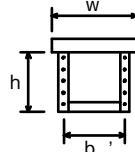
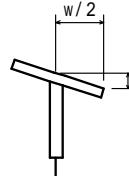
測定基準	測定箇所	摘要
接続部(地上機器部)間毎に1箇所。		
両端・施工継手箇所及び図面の寸法表示箇所で測定。		
1箇所毎 は現場打部分のある場合		

単位: mm

編	章	節	条	枝番	工	種	測定項目	規 格 値	
								個々の測定値(X)	平均の測定値(X ₁₀)
10 道 路 編	15 道 路 維 持	4 鋪 裝 工 程	5		切削オーバーレイ工	厚さ t	- 9		
							幅 w	- 25	
						延長 L	- 100		
						平 坦 性	3 m ² ロフィルメーター ()2.4mm 以下 直読式 (足付き) ()1.75mm 以下		
10 道 路 編	15 道 路 維 持	4 鋪 裝 工 程	7		路上再生工	路 盤 工	厚さ t	- 30	
							幅 w	- 50	
							延長 L	- 100	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
厚さは 40m毎に現舗装高とオーバーレイ後の基準高の差で算出する。 測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 幅は、延長 80m毎に 1箇所の割とし、延長 40m未満の場合は、2箇所 / 施工箇所とする。 断面状況で、間隔、測点数を変えることが出来る。		維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。
幅は延長 80m毎に 1箇所の割で測定。 厚さは、各車線 200m毎に左右両端及び中央の 3 点を掘り起こして測定。		

单位：mm

測定基準		測定箇所	摘要
鋼げた等	トラス・アーチ等		
主げた・主構	各支点及び各支間中央付近を測定。		
床組など	構造別に、5部材につき1個抜き取った部材の中央付近を測定。	 I型鋼げた	 トラス弦材
主げた	各支点及び各支間中央付近を測定。		
	主要部材全数を測定。 :部材長(mm)		